

## 和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.14★

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋…

メルマガ読者の皆さまはどのような秋をお過ごしでしょうか。



さて、今回のメールマガジンは、今年の夏に行われた様々な国との交流の様を中心にお届けします。

メルマガ初登場のインド情報もあります。和歌山とインドの関係についてご存じですか？

それでは、メルマガNo.14をお楽しみください！

### ● 文化国際課 だより ●

#### 文化交流 6月・インド

和歌山県は、インドのマハラシュトラ州と昨年10月に覚書を締結し、観光・食品加工・企業間協力の分野で相互交流を開始しました。マハラシュトラ州は、成長著しいインドのなかでも州別第2位の人口（約1億1300万人）を誇り、同国の商業の中心都市であるムンバイを州都とする巨大な州です。和歌山県とは、アジャンタ・エローラ石窟群等の仏教関連の世界遺産をはじめとする豊富な観光資源、果物等の農業や食品加工業が盛んなこと等の共通点があることから、交流関係を結びました。



この交流の一環として、6月21日～29日にサンジェイ・デオテール文化大臣を団長とするマハラシュトラ州政府代表団が和歌山県および大阪、東京を訪れました。24日には和歌山県世界遺産センターと同州アジャンタ・ビジターセンターとの提携・交流に関する協定が結ばれました（写真①）。今後、両センターにおいて互いの観光情報の紹介や人的交流等が進められます。また、27日には和歌山県東京事務所内にマハラシュトラ州東京事務所が開設されました（写真②）。

さらに、州政府代表団は白浜町で地元観光関係者との交流会を行ったほか、大阪・東京においても観光PRイベントを開催しました。こうしたイベントでは代表団に同行した文化交流団によるインド伝統芸能の公演が行われ、色鮮やかな衣装と異国ムード溢れるパフォーマンスで観客を魅了しました（写真③）。



①県庁での協定調印式

②東京事務所開所式

③大阪のイベントでの伝統舞踊

6月の代表団来県に続き、8月には和歌山県からマハラシュトラ州に職員が派遣され、9月8日には同州オーランガバードに和歌山県事務所、10日にはムンバイに和歌山県紹介コーナーが設けられました。

和歌山県とマハラシュトラ州の交流は始まったばかりですが、既にこうして双方に互いの窓口が設けられ、今後は具体的な活動も進展していきます。本メルマガでも、読者の皆様にインド・マハラシュトラ州に興味を持っていただけるように、現地派遣職員からの異文化体験記も含めて、交流活動を紹介していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

..... **青少年交流 8月・ブルネイ** .....

仁坂吉伸和歌山県知事が駐ブルネイ日本国大使であったことから、平成21年度に和歌山県とブルネイとの青少年交流が始まり、現地のブルネイ日本協会を通じて過去4回青少年交流団を派遣してきました。今回は8月15日～22日の日程で、県内出身の高校生10名と大学生5名が参加しました。

まず、初日は、現地学校訪問を行い、異文化交流会が開かれました。こちらからは、「和歌山の観光・産業チーム」と「和歌山の世界遺産チーム」に分かれプレゼンを行い、現地学生はブルネイのダンスと劇を披露してくれました。また、丁度断食明けのハリラヤというお祭りの時期だったので、各クラスのお祭りの様子を見学させていただきました。色とりどりのお菓子や料理、南国のフルーツが並べられており、皆さん目を輝かせながら試食していたのですが、ブルネイの代表的フルーツ「ドリアン」の味には、「ガソリンの味がする！」と驚愕している人がたくさんいました。

その後はプログラムのメインである“ホームステイ”へ。ホストファミリーが迎えに来てくれました。ブルネイは、イスラム教国であることからお祈りや食制限もあり、生活様式も全く異なるため、参加者は楽しみにしつつも少し不安そうな顔をしながらそれぞれのホームステイ先に分かれて行きました。

そのほか、日本大使館やウル・テンブロン国立公園を訪問し、ブルネイの文化や自然に

ついて学ぶ機会もありました。最終日前日の夜には、ブルネイ日本友好協会主催の送別会が行われ、伝統的な衣装を身にまといながら参加しました。

最初は不安そうな顔をしていた皆さんも、「ブルネイ人は本当に優しく、穏やか。色々で紹介してくれるので、毎日ブルネイの文化について新発見があった。本当に楽しかった。」「一緒にサッカーをした。言葉、服装、顔、宗教が違っていてもボールを一心不乱に追いかける姿は皆一緒だったので嬉しくなった。」といった意見が出るなど、満足した様子でした。



ブルネイ日本友好協会主催の送別会



異文化交流会

### .....**青少年交流 8月・スペインガリシア州**.....

熊野古道を有する和歌山県は、キリスト教の巡礼路として知られる“サンティアゴへの道”を有するスペイン・ガリシア州と1998年に姉妹道提携を結び、以降、さまざまな分野での交流を行っています。

4回目の受入となった今回は、ガリシア州の19歳から29歳の15名が来県し、和歌山大学での交流会、湯浅町見学、湯浅国際文化交流協会での浴衣の着付けや切り絵体験、梅工場見学、田辺市や上富田町で3泊4日のホームステイ、熊野古道ウォークなどを体験しました。

熊野古道ウォークの日は午前中、宿を出るときからあいにくの雨でしたが、「年中雨の多いガリシアだから、これくらいの雨、気にならないよ」と、牛馬童子から野中の一本杉まで約8kmをみな元気に歩きました。午後、熊野本宮大社を参拝し、神職から“なぜ中世に「蟻の熊野詣」と言われるほど巡礼者が多かったのか”、“熊野詣とはどういう意味を持っていたのか”、などの説明を受け、興味深気に耳を傾けていました。

これからもこのような交流を継続して行き、互いに理解を深めていきたいと思っています。3月には和歌山県からガリシア州へ青少年代表団を派遣し、「サンティアゴへの道」を歩いたり、ホームステイなどを体験したりすることになっています。

(写真：和歌山大学にて)



## 和歌山県・山東省友好提携30周年事業

国際交流推進事業に積極的に取り組んでいる和歌山県にとって、中国山東省は最初の海外提携先です。両省県は、1984年4月18日に友好関係を締結し、今年で30周年を迎えました。



これを記念して、8月27日から9月3日まで県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛で「和歌山県・山東省友好提携30周年記念 山東省観光写真展・回顧展」が開催されました。山東省の泰山や孔子廟などの世界遺産を始め、省内各地の名所旧跡の観光写真50点、和歌山県山東省の30年間友好交流の回顧写真40点が展示されました。

写真展・回顧展のオープニングセレモニーには、山東省政府外事弁公室副主任李栄（りえい）氏を団長とする山東省友好提携記念30周年記念訪問団9名が仁坂知事とともに出席し、開幕を祝いました。またセレモニーの一環として、中国四川省出身の江玉さんが中国の文化遺産に指定されている伝統芸能「変面」を披露し（変面とは、役者が一瞬のうちに面を変えて人物の喜怒哀楽を表現するもの）、「一子相伝」とされるスゴワザで来場者を驚嘆させました。



回顧展開幕式

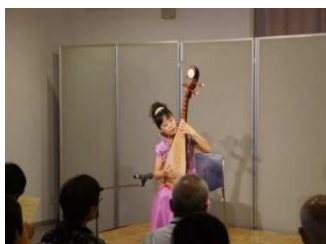


写真展



「変面」披露

また、山東省観光写真展・回顧展の関連イベントとして、30日に中国琵琶ミニコンサート、31日に中国吉祥花文字体験（和歌山県国際交流センター主催）が行われました。会場は、中国伝統楽器の調べや伝統文化を楽しむたくさんの方々で賑わっていました。



中国琵琶ミニコンサート



中国吉祥花文字体験



「三十にして立つ」と言われるように、両省県が、これまでに築いた友情を元に新たなスタートを切り、絆をより一層深め、より成熟したパートナーとなるよう願っています。

.....**青少年交流・中国山東省**.....

友好提携 30 周年記念事業の筆頭として、7 月 22 日、23 日に山東省から済南市第十三中学校の修学旅行団 21 名を迎えました。修学旅行団一行は環境に配慮した製品づくりに取り組んでいる花王株式会社の和歌山工場を見学し、自分の毎日の生活が環境と密接に結びついていると理解し、環境意識を高めました。また、県立日高高校を訪れ、茶道体験やクラブ活動見学などを通して、日本の伝統文化や学校文化を存分に味わいながら、和歌山の生徒たちと交流を深めました。



花王和歌山工場見学



日高高校での交流



クイズ！海外豆知識！

インドは、ヒンディー語、英語をはじめ、たくさんの言語が使用されていることで知られていますが、和歌山県と交流関係にあるマハラシュトラ州で公用語となっているのはどの言語でしょうか？

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. ベンガル語   | 2. タミル語   |
| 3. マラーティー語 | 4. ウルドゥー語 |

(答えは最終ページ)

## ● 和歌山県職員による異文化体験記 ●

皆さん、こんにちは。私は、文化国際課の海出（うみで）と申します。私は、去年の4月から中国・山東省に派遣されており、現在は、山東省・青島（チンタオ）市の旅行社で研修を受けています。

今回、私は青島大学に足を運び、日本語学科の学生に突撃インタビューを実施しました。インタビューに快く応じてくれた呂さん、高さん、王さんの3人は、日ごろから日本語を熱心に勉強しており、青島大学日本語学科の学生有志による現地日本人との交流会においては、一年間、日本語を用いて司会を務めていました。

日本語を学び、日本人とも積極的に交流する彼女たちが、日本の言葉や文化に対して、どのようなイメージを抱いているのか、皆さんにお伝えしたいと思います。

海出：早速ですが、皆さんは、どうして日本語を勉強しようと思ったのですか。

**呂さん** 私は元々語学に興味があって、大学から何か新しい言語に挑戦しようと考えていました。青島近辺には日本企業も多いので、日本語を選びました。

**高さん** そうそう。他にもスペイン語やフランス語などの選択肢はありましたが、卒業後の事を考えると、日本語は他の言語に比べて凄く有利だと思います。

**王さん** 私は、アニメを通して日本語に興味を持ちました。中国では、日本のアニメはとても人気がありますよ。

**高さん** 私も日本のアニメは大好き「セーラームーン」、「名探偵コナン」、「ドラゴンボール」や「ポケモン」などは小さいころはよく見ていました。

海出：最近では「ワンピース」や「進撃の巨人」等の作品が人気を博していると聞きますね。ところで、皆さんはこれまでに日本語を約3年間勉強されてきましたが、日本語の簡単どころ、難しいところを教えてください

**高さん** 簡単どころは一つもなく、難しいことばかりです（笑）が、あえて苦手な部分を挙げるなら、リスニングですね。授業では問題ないのですが、日本人と普通に会話する場合には聞き取れないことも沢山あります。

**呂さん** 私は、「書き言葉」がとても難しく感じます。会話をする分には問題ないのですが、「書き言葉」と「話し言葉」は全く異なりますし、「が」と「は」の使い分けなども難しいので、文章を書くことがとても苦手ですね。

でも読解は比較的簡単ですよ。日本語と中国語では単語の意味が似ているものが沢山あるので、知らない単語が出てきても、内容を推測することが出来るんですよ。

**高さん** でも日本語は、一つの単語の中にも沢山の意味がありますよね。例えば、私のアルバイトしている居酒屋には日本人がよく来るのですが、私が「生ビールで良いですか」と尋ねると、お客様の答えはいつも「いいです」なんです。でも、「（もう）いいです」なのか、「（生ビールで）いいです」という意味なのか分からなくて、勘違いすることが

よくありました。

海出：それは大変でしたね（笑）。さて、皆さんは学校の先生等から日本の話を聞くことがあると思いますが、もし皆さんが日本へ旅行に行くなら、どんなところに行ってみたいですか？

**王さん** 私は大阪に行ってみたいです。以前、「ごちそうさん」というドラマを見て、関西弁の持つ独特のイントネーションに凄く興味を持ちました。

**呂さん** 私は京都ですね。京都は歴史のある街ですし、色々な建築物を見たいです。中国にも歴史のある建物はありますが、古さの「質」が少し違うと思います。

**高さん** 以前中国では、北海道を舞台にした映画（邦題：『狙った恋の落とし方。』）が大ヒットして、撮影地である北海道へ旅行する人がとても増えました。私も、ラベンダーの咲く季節に北海道へ行ってみたいです。

海出：なるほど。旅行以外にも、日本の気になる文化や習慣はありますか？

**呂さん** 着物ですね。日本には、例えば漢字など中国から伝わったものが沢山ありますが、着物のデザインは中国にはありません。日本独特のものですよね。

**王さん** 服と言えば、ドラマ等で出てくる学生服はとても可愛いですよね。中国の学校では制服は無く、皆同じ体操服を着て通学します。あまり可愛いとは言えませんよね（笑）。

**高さん** 日本の女子学生は、腰の部分でスカートを折って、自分で丈を短くするのですよね？とても面白い習慣だと思います（笑）。後、王さんが話していましたが、日本のドラマやアニメはすごく好きですよ。



**王さん** うんうん。日本のドラマは中国のドラマに比べて、内容に深みがあると思います。

海出：最後の質問です。将来は、どのような分野の職業に就きたいですか？

**王さん** 山東省内には日本語を教える高校がいくつかあるので、大学卒業後は大学院に進んで、日本語の教師を目指すつもりです。

**呂さん** 私は、外国人留学生に中国語を教える教師になりたいと思います。

**高さん** 私は、まだはっきりと決めていません。でも、日本語を学んで、沢山の日本人と出会って、日本語を通して日本の文化や日本人の考え方を理解することが出来るようになりました。視野も広がったと感じるので、ゆっくり自分の道を探していきたいです。

海出：今日は本当にありがとうございました。

**3人** ありがとうございました！！

いかがでしたか。日本語の学習については、現在、私自身も中国語を勉強していることもあってか、リスニングや喋ることが苦手、と言った彼女達の話をととても共感して聞くことができ、また、日本の文化や風習については、彼女たちは現地の日本人を通して、中国国内のテレビやインターネットでは得ることのできない「生の」情報を積極的に仕入れているようで、彼女たちが、ただ日本語を勉強しているだけでなく、日本の文化に高い興味を示していることを窺い知ることが出来ました。

今回のインタビューでは、3人の話す日本語はとても流暢で、わずか3年間の勉強でここまで上達したのかと感心するとともに、自分も頑張らなくてはと気の引き締まる思いがしました。

〈海出義和（平成25年4月より中国山東省派遣・企業で研修中）〉



#### 《お知らせ》

#### 写真展「巡礼：フランチェスコのサンティアゴ巡礼の道」

2014年は、聖人フランチェスコ（フランシスコ会創設者）がイタリア・アッシジからスペイン・ガリシア州のサンティアゴ・デ・コンポステーラまでの巡礼道を歩いてから800周年になります。

写真展では、ガリシア州の写真家マヌエル・バルカルセル氏が、イタリア、フランス、スペインを訪れ、フランチェスコと同じ旅をして完成させた作品50点を展示します。

#### 1) 和歌山会場

期間：平成26年10月31日(金)15:00

オープニングセレモニー

～11月6日(木)

場所：イオンモール和歌山

3階イオンホール

#### 2) 田辺会場

期間：平成26年11月18日(火)

～12月14日(日)

場所：世界遺産熊野本宮館



さて、今回のメルマガ、お楽しみいただけただでしょうか？

和歌山県が、世界の国々と様々な分野でつながっていることを実感していただけたかと思います。

文化国際課メールマガジンも、創刊からまもなく3周年を迎えます。今後も和歌山県の国際交流について、様々な情報を発信していきます。より多くの皆さまに情報をお届けすべく、国際交流に興味をお持ちの方がいましたら、ぜひご紹介いただきたいと思います。和歌山県文化国際課ホームページから読者登録ができます。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/kokusaikouryu/mailmagazine/mailmagazine.html>



次号は年末の配信予定です。どうぞお楽しみに！

### クイズ！海外豆知識！の解答

正解：3. マラーティー語

マハラシュトラ州および近隣の州で話されるマラーティー語は、ヒンディー語とよく似た言語です。約7200万人の人々に使用されており、インドでは4番目、世界中では16番目に話者数の多い言語となっています。